

平成 27 年度 第 19 回 数理分子生命理学セミナー

日時：平成 27 年 11 月 11 日(水) 14:35～

場所：理学部 E211 講義室

講師：木下 俊則先生 (名古屋大学トランスフォーマティブ生
命分子・教授)

演題：気孔開口のシグナル伝達と人為的な気孔開度制御

要旨：植物の表皮に存在する気孔は、太陽光に含まれる青色光に応答して開口して光合成に必要な二酸化炭素の取込み、蒸散や酸素の放出を促進し、乾燥ストレス下では、植物ホルモン・アブシジン酸に応答して閉鎖し、植物体からの水分損失を防いでいる。私達はこれまで、主に青色光による気孔開口のシグナル伝達について解析を進め、シグナル伝達の主要因子である青色光受容体フォトロピンや細胞膜プロトンポンプの関与などが明らかとなってきた。現在は、様々な研究手法により、気孔開閉の詳細なシグナル伝達機構の解明を進めるとともに、これまでに得られた知見を利用して、気孔開度を人為的に制御する取組みも進めている。本講演では、近年の研究成果を中心に紹介したい。

数理分子生命理学セミナー世話人 島田 裕士 (内線 7450)

今回のセミナーは(5研究科)共同セミナーとして認定可能です